

○子ども・子育てニーズ調査(アンケート調査)結果概要

1. 調査概要

調査の目的	竹原市子ども・子育て支援事業計画（第3期）策定に向けた基礎資料とするため、小学校以下の児童が属する世帯の子育て状況や子育て支援等に関する意見等の把握。	
	就学前児童	小学校児童
調査対象者	市内の 未就学児 が属する全世帯	市内の 小学生 が属する世帯
調査期間	令和6年2月	同 左
調査数	506 件	603 件
調査方法	郵送による配布、郵送による回収	郵送による配布、郵送による回収
調査票回収数	183 件	258 件
回収率	36.2%	43.0%

2. 調査結果の傾向

1) 就学前児童

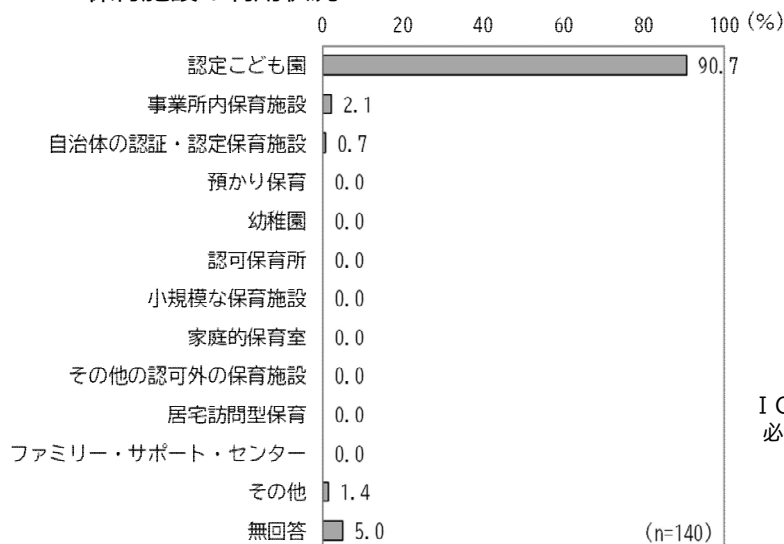
① 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況(問 14～15)

8割弱の世帯で、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用しており、その内訳としては、「認可こども園」(9割強))などとなっています。また、9割強が町内で実施していますが、その理由として、7割強が居住場所に近いためとか回答しています。

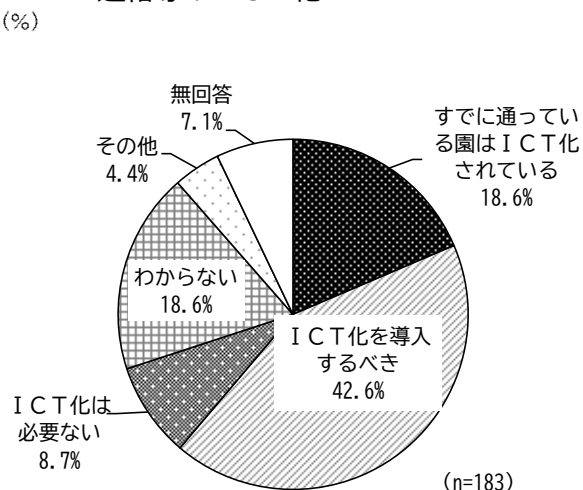
保育園とこども園との連絡をICT化（スマートフォン等による電子化）することについて、導入済みとの回答は2割弱で、導入すべきとの回答は4割強となっています。

国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」が創設された場合、3割弱が利用したいと回答しており、普段、認定こども園を利用しているため対象となっていないと回答した方は、5割弱となっています。

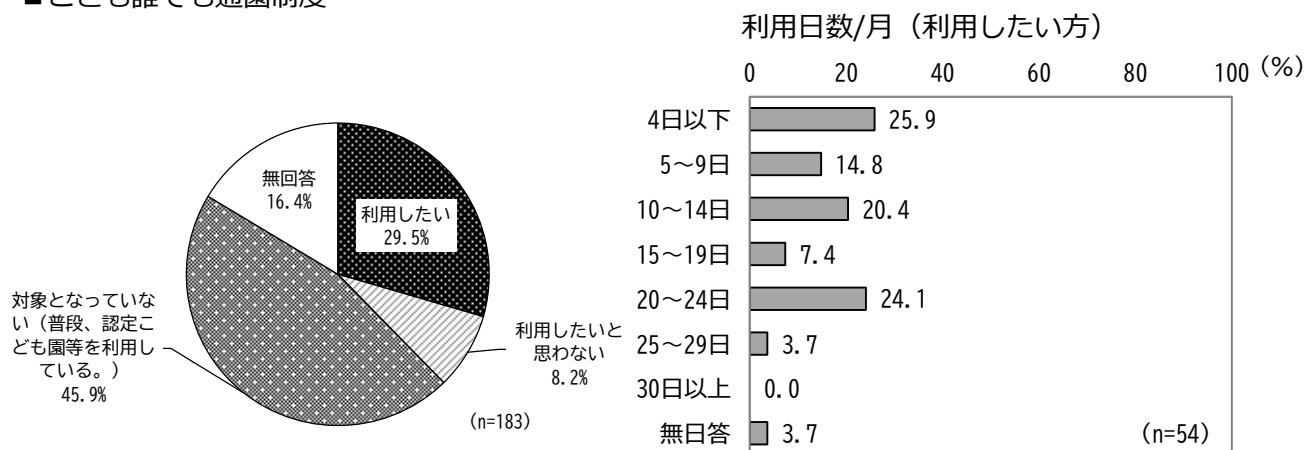
■ 保育施設の利用状況



■ 連絡等のICT化



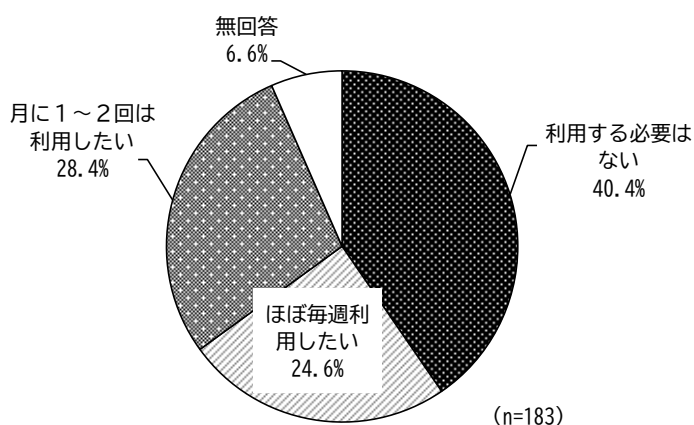
■ こども誰でも通園制度



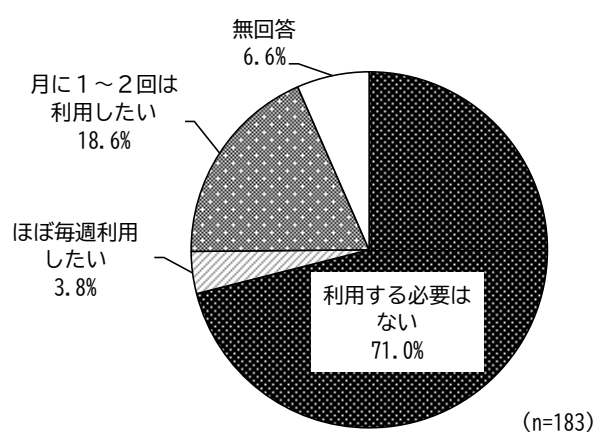
② 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望(問 19～20)

土曜日では、4割強、休日では7割強が利用を希望していませんが、夏休みなどの長期休暇(幼稚園対象)の場合は、5割強が利用したいと回答しています。

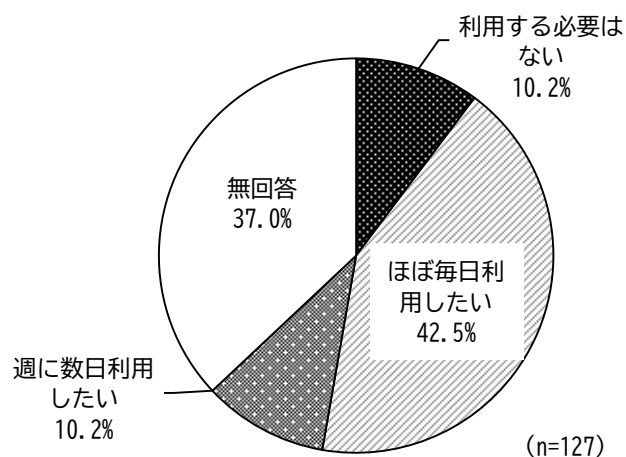
■ 土曜日



■ 日曜日



■ 夏休みなどの長期休暇（幼稚園）

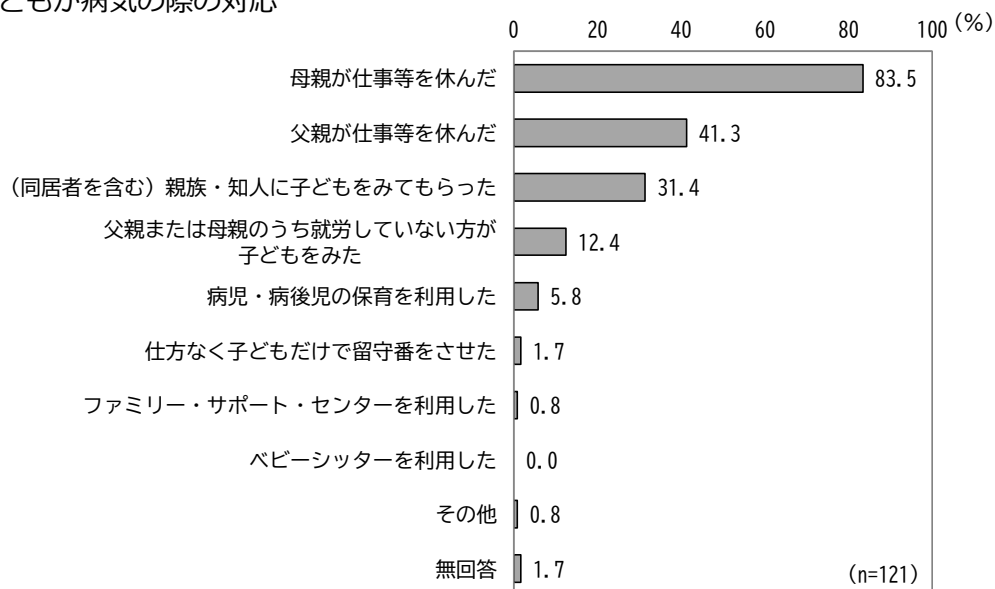


③ 病気の際の対応(問 21～22)

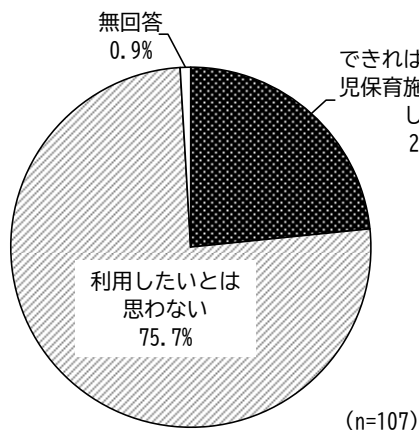
子どもが病気の際、母親が仕事を休み対応することが多く、8割強となっています。また、4割強の世帯では、父親が休み対応しています。その他では、親族・知人に預ける場合も3割強見られます。

病児・病後児のための保育施設等については、7割強が利用しないとしています。利用したいとは思わない世帯の6割弱は、親が仕事を休んで対応するや他人にみてもらうことの不安が4割弱となっています。

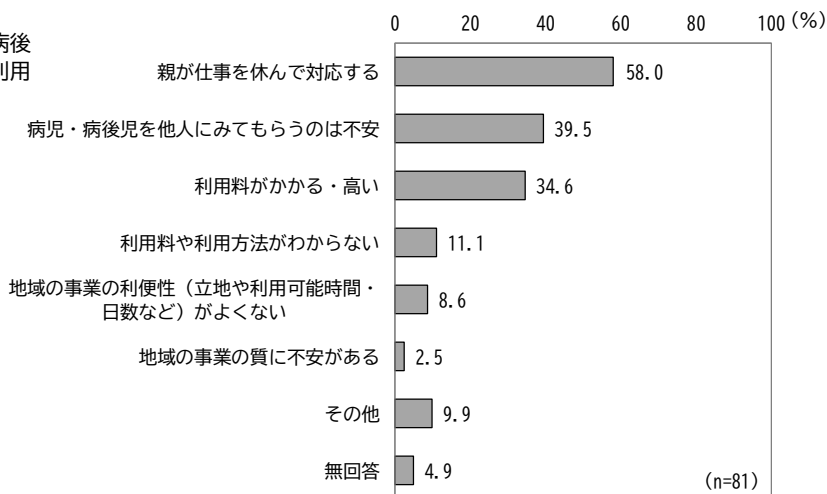
■ 子どもが病気の際の対応



■ 病児・病後児保育利用

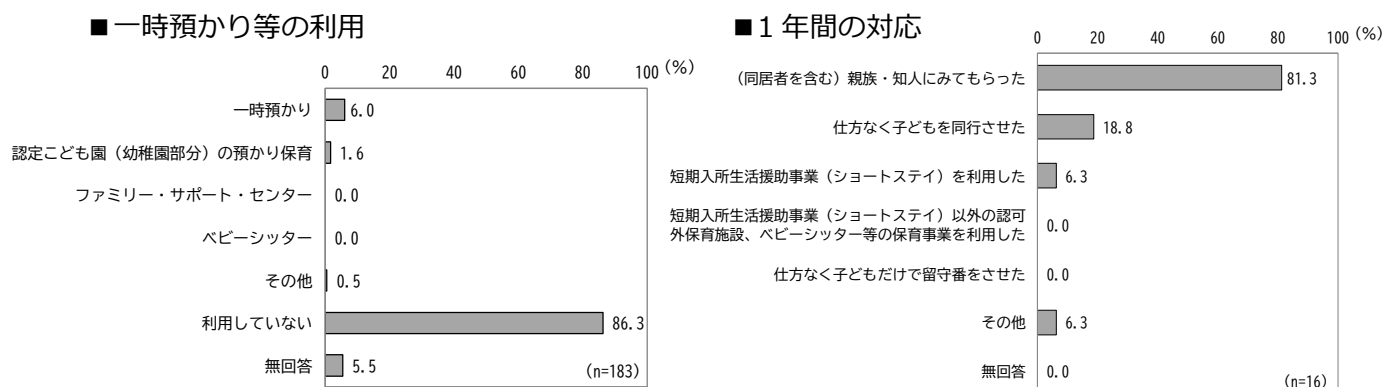


■ 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由



④ 不定期の預かり事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用(問 23～25)

現在、9 割弱の世帯では、不定期の預かり事業や宿泊を伴う一時預かり等を利用していません。また、保護者の用事で家族以外の親族・知人にみてもらった割合は 8 割強となっています。

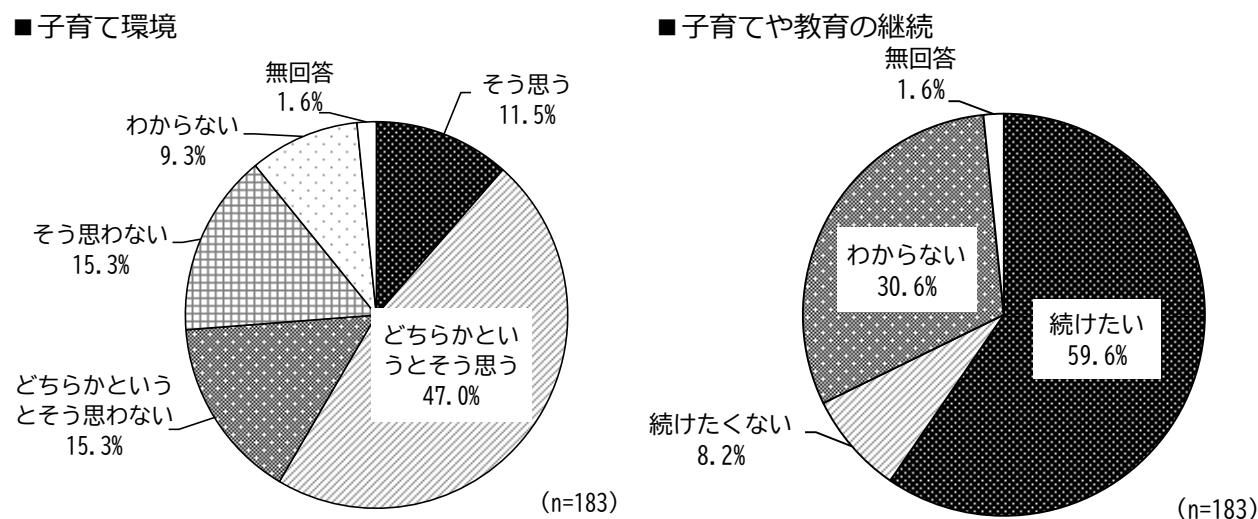


⑤ 本市の子育て環境について(問 38～40)

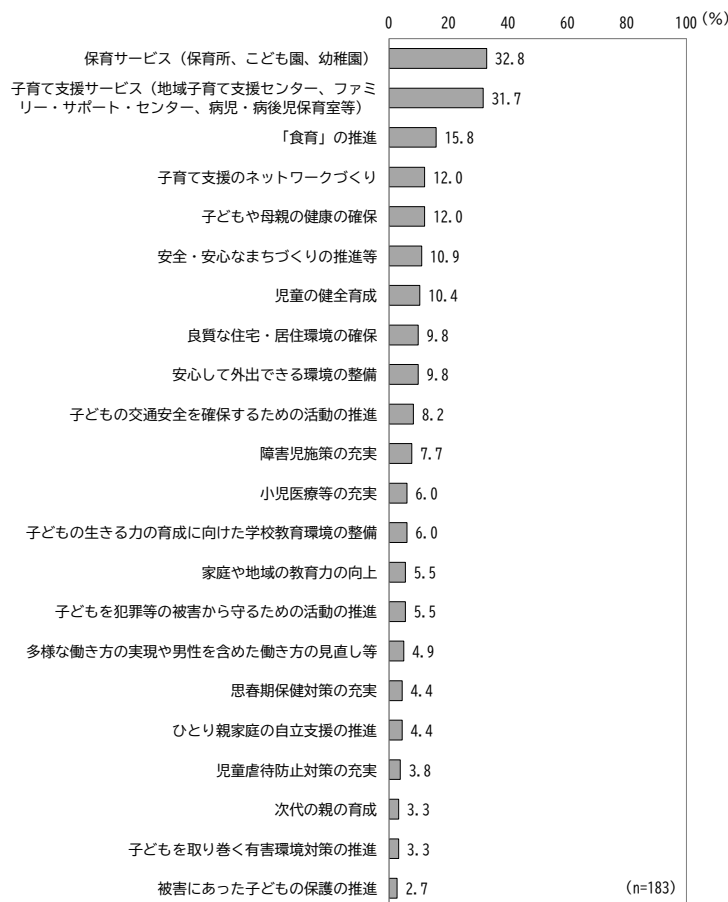
本市の子育て環境について、子育てしやすいと思う割合は 6 割弱で、教育や保育を受けさせ続けたいと思う割合も 6 割弱となっています。

本市が取り組んでいることとで、「保育サービス」・「子育て支援サービス」が 3 割強、「子育て支援のネットワークづくり」「児童の健全育成」「子どもや母親の健康の確保」「食育の推進」が 1 割強、良くなったと感じています。

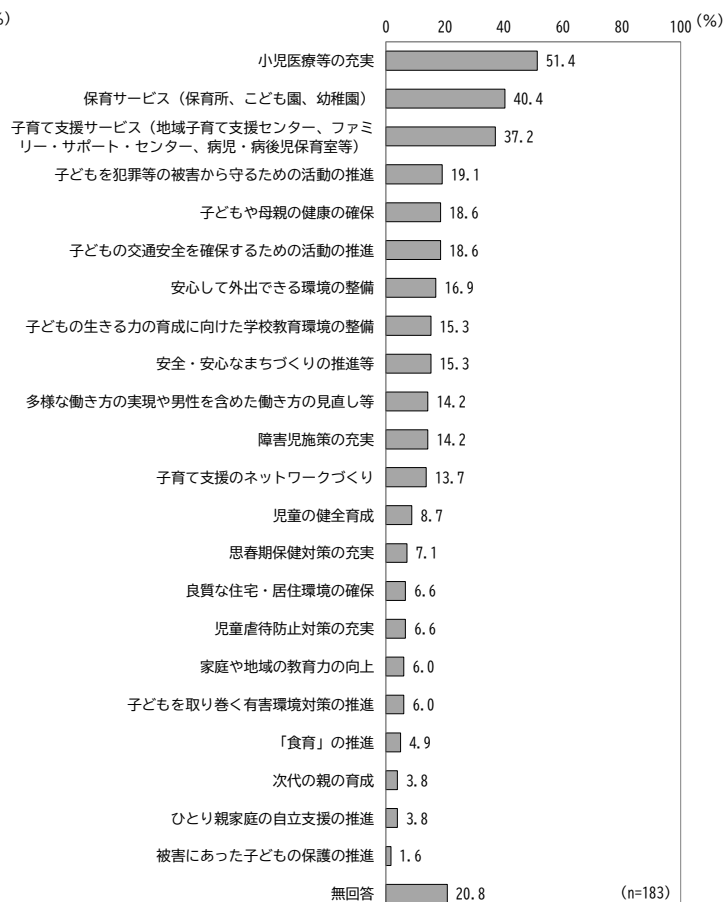
また、本市の取組の中で今後も重要と思うものとして「保育サービス」・「子育て支援サービス」が 4 割弱、「小児医療等の充実」5 割強となっており、安全・安心に関することや働き方、障がい児施策の充実などが 1 割～2 割程度で続いています。



■取組んでいることで良くなったと思うこと



■今後も特に重要だと思うこと



2) 小学校児童

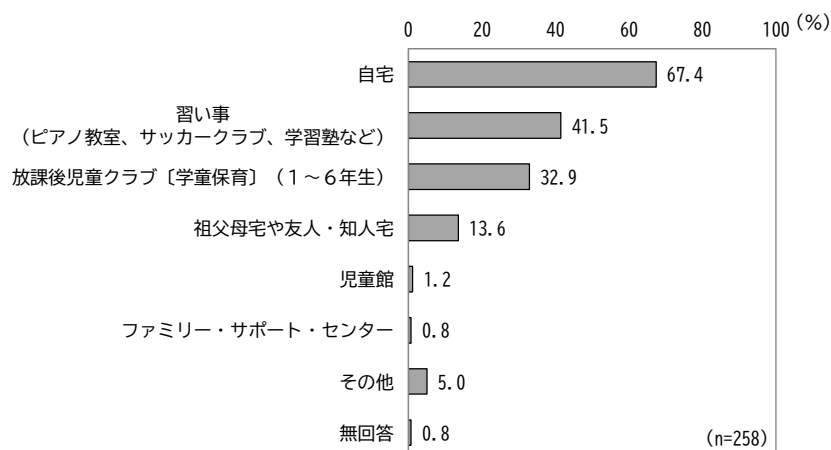
① 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況(問 12～15)

放課後は、子どもの7割弱が自宅で過ごしており、保護者が希望する居場所も現状とほぼ同様と考えています。

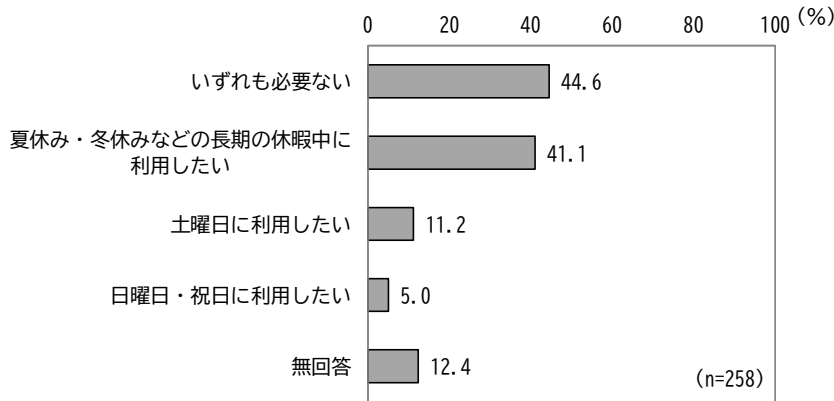
放課後児童クラブは、現在3割強が利用していますが、利用希望を見ると土・曜日は9割弱が利用する必要はないと考えています。また、夏休み等の長期の休暇では、4割弱が利用したいと考えています。また、利用期間としては6年生までが6割強を希望しています。

放課後児童クラブの満足度としては、「たいへん満足」が3割強で「ほぼ満足」が5割となっていますが、「やや不満・大変不満」が約2割とあるため、利用時間帯や指導内容の工夫などを改善していく必要があります。

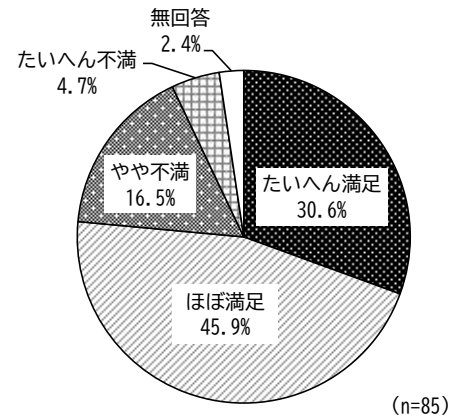
■放課後の過ごし方



■ 夏休み等における長期休暇における希望（児童クラブ）



■ 児童クラブの満足度

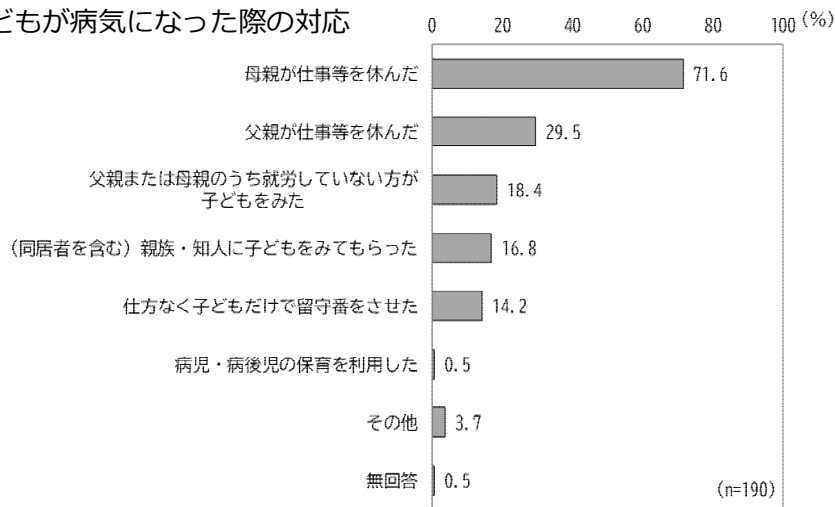


② 病気の際の対応(問 17)

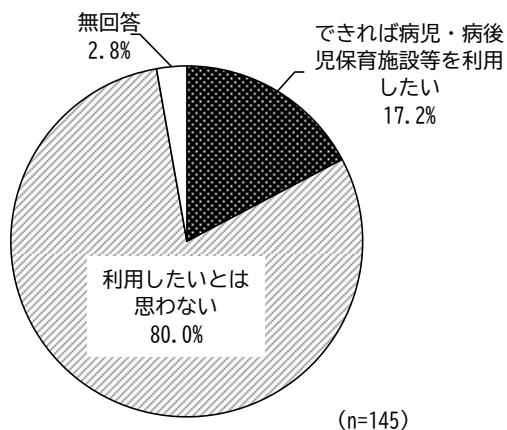
子どもが病気の際、母親が仕事を休み対応することが多く、7割強となっています。また、3割弱の世帯では、父親が休み対応していますが、仕方なく子ども一人で留守番させる世帯も1割強見られます。

病児のための保育施設については、8割が利用しないとしています。利用したくない世帯の7割弱は、親が仕事を休んで対応するや他人にみてもらうことの不安が3割となっています。

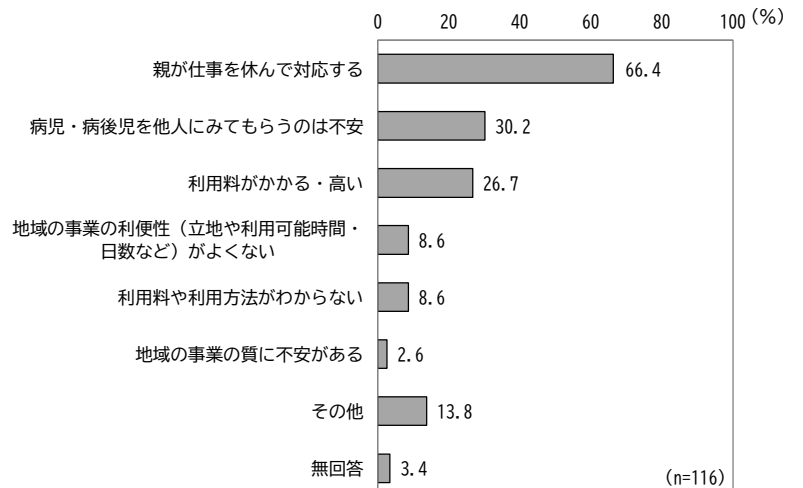
■ 子どもが病気になった際の対応



■ 病児・病後児保育利用



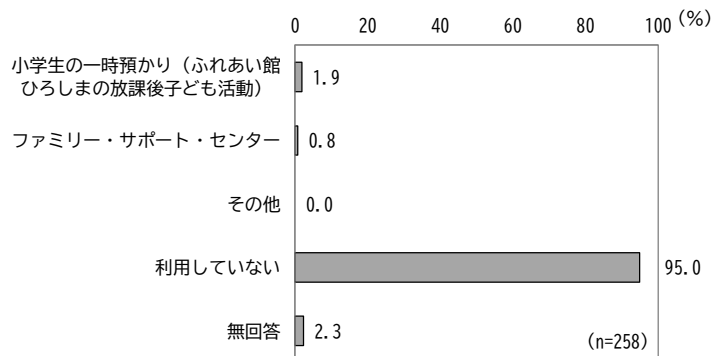
■ 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由



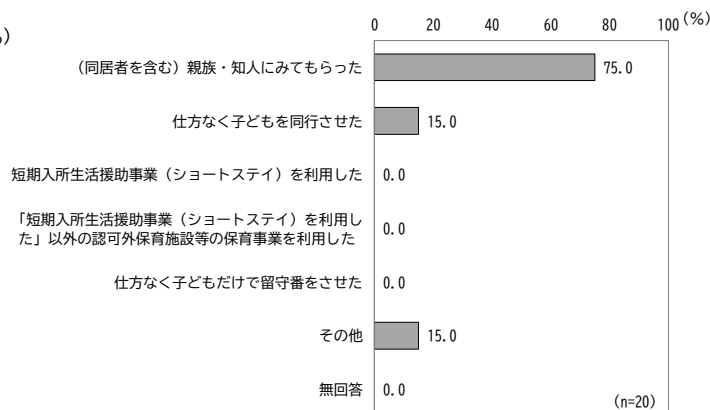
③ 不定期の預かり事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用(問 18～20)

現在、9 割強の世帯では、不定期の預かり事業や宿泊を伴う一時預かり等を利用していません。また、保護者の用事で家族以外の親族・知人にみてもらった割合は 8 割弱となっています。

■ 一時預かり等の利用



■ 1 年間の対応



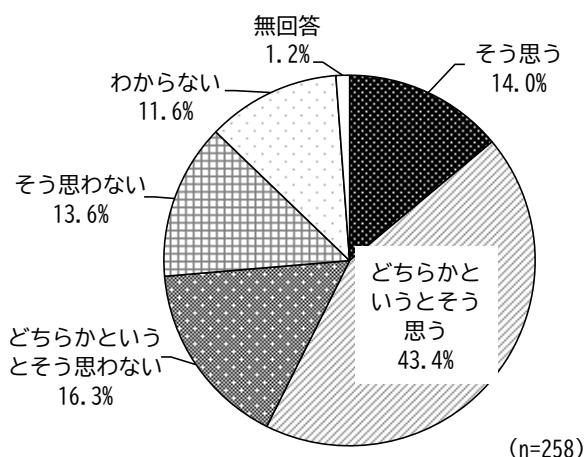
⑥ 本市の子育て環境について(問 36～38)

本市の子育て環境について、子育てしやすいと思う割合は 6 割弱で、教育や保育を受けさせたいと思う割合も 6 割弱となっています。

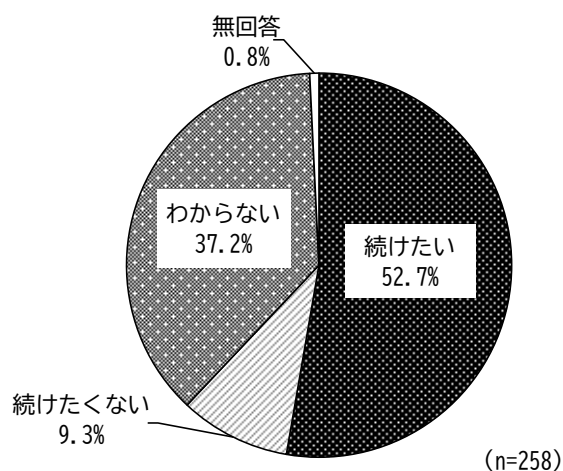
本市が取組んでいることとで、「保育サービス」3 割弱、「子育て支援サービス」が 2 割強、「食育の推進」が 2 割強、「小児医療等の充実」「安全・安心なまちづくりの推進等」が 1 割強、良くなったと感じています。

また、本市の取組の中で今後も重要と思うものとして「保育サービス」「子育て支援サービス」が 2 割弱、「小児医療等の充実」4 割弱となっており、学校教育環境の整備、安全・安心に関することや働き方、障がい児施策の充実などが 1 割～2 割程度で続いています。

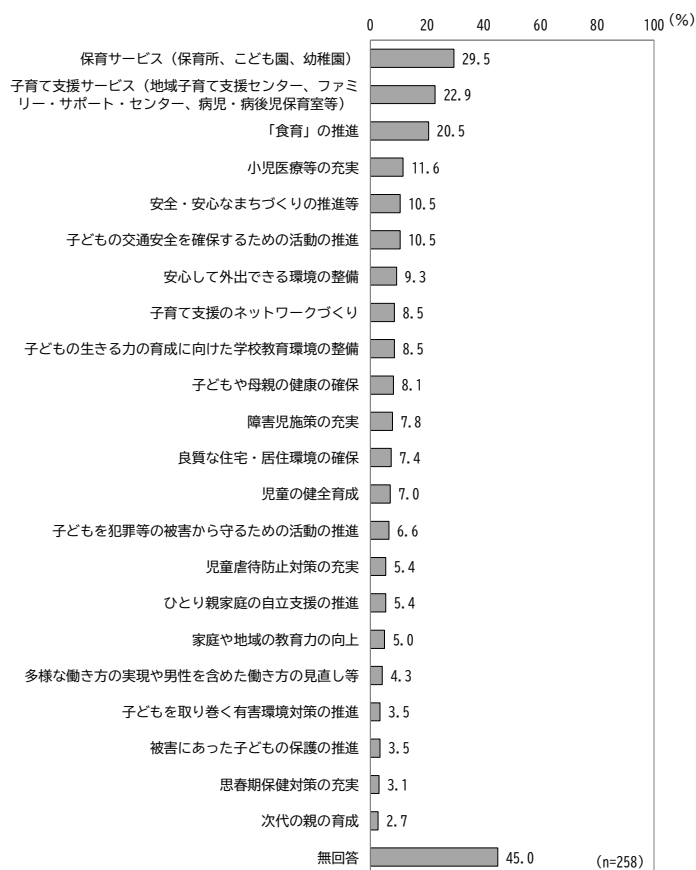
■ 子育て環境



■ 子育てや教育の継続



■取組んでいることで良くなったと思うこと



■今後も特に重要だと思うこと

